

分野	統合分野 看護の統合と実践	科目	医療安全		
	必修		単位(時間)	1単位(30時間)	開講時期
講師名	高松 麻由美	所属および実務経験	済生会福岡総合病院 安全管理室/看護師		
	丸山 裕子		済生会福岡総合病院 安全管理室/看護師		
【授業概要】					
医療の質を保证するために看護師が身につけるべき医療安全の基礎知識を学び、リスクマネジメントの視点を持ち、安心・安全な看護を提供する基盤を養う。また、安全文化を基盤とした組織の取り組みやチーム医療、多職種協働についても学び、医療を担う看護師としての責任感を育む機会とする。					
【到達目標】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の責務や法的規定を踏まえて、医療安全の意味と重要性について説明することができる。 2. 事故発生の要因と組織的マネジメントの重要性について説明することができる。 3. 看護業務に関わる主な医療事故の背景、要因、対策について説明することができる。 4. 在宅看護で起こりうる医療事故の背景、要因、対策について説明することができる。 5. 自己の安全を脅かす要因と対策を列記することができる。 6. インシデントレポートや事故分析の意義を踏まえ、再発防止に役立つ報告及びレポートを書くことができる。 7. 患者安全を目指したチーム医療や多職種協働の重要性について考察することができる。 					
回数	授業内容			授業方法	講師
1	医療安全と看護の理念 医療安全の意味と重要性、看護職の法的規定と医療安全			講義	高松
2	医療安全への取り組みと医療の質の評価			講義	高松
3	事故発生のメカニズムとリスクマネジメント			講義	高松
4	チームで取り組む安全文化の醸成			講義 演習	高松
5	チーム医療、チーム STEPPS、エビデンスに基づく協働				
6	看護業務に関連する事故と安全対策 1. 看護業務と事故発生要因・危険因子、原因と結果分析の重要性 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策			講義	丸山
7	2. 誤薬と与薬事故及び針刺し事故			講義	丸山
8	3. 患者取り違え（誤認）及び情報伝達時のトラブル 転倒・転落			講義	丸山
9	4. 異物遺残と皮膚障害及びチューブトラブル、経管栄養チューブ事故			講義	丸山
10	5. 医療機器トラブル 輸液ポンプ、シリンジポンプ、人工呼吸器、アラーム対応など			講義	丸山
11	6. 検査・処置時のトラブル			講義	丸山
12	在宅看護における医療事故と安全対策			講義	丸山
13	インシデント・事故分析及びリスク感性の育成			講義 演習	高松
14	インシデントレポート、アクシデントレポート				高松
15	事故分析、K Y T など				高松
	終了試験				
【準備学習】事前に授業計画を確認し、教科書で予習する。 他、授業時に提示する。					
【教科書】 松下由美子他編 ナーシング・グラフィック 看護の統合と実践② 医療安全 メディカ出版 2023					
【参考書】 川野龍太郎著 医療におけるヒューマンエラー 医学書院 2014 日本看護協会 医療安全推進のための標準テキスト 日本看護協会 2013 日本医療機能評価機構 病院機能評価事業 < https://www.jp-hyouka.jcqhc.or.jp/ > 川村治子著 ヒヤリハット 11000 事例によるエラーマップ完全本 医学書院 2003 宮崎和加子著 在宅ケアにおけるリスクマネジメント医療安全推進者ネットワーク					

ホームページ<<http://www.medsafe.net/specialist/17miyazaki.html>>

【成績評価】 終了試験の結果で評価する。出席状況や受講態度も考慮の対象とする。

高松先生 50 点 丸山先生 50 点

【備考】 演習の詳細は別途配布し説明する。

学生便覧Ⅴ.学生生活について『5.授業を受ける心構え』参照

分野	統合分野 看護の統合と実践	科目	臨床看護技術		
			必修・選択	必修	単位（時間）
講師名	藤木 美春	所属および実務経験	専任教員 / 医療機関において看護師として勤務		
【授業概要】					
既習の知識・技術及び専門分野での学びや経験を統合し、多重課題や複数受け持ちの状況において、優先度を踏まえて、対象に応じた看護を創造していく基盤を養う。また、看護師に求められる実践能力や卒業時の到達目標から自己分析を行い、課題を明確にし、今後の自己目標を確認し、主体的に課題解決していく姿勢を強化する機会とする。					
【到達目標】					
1. 看護師に求められる実践能力と自己の到達度を対照し、課題解決に向けて計画することができる。					
2. 技術に関する自己の課題解決に向けて、自ら主体的に取り組み、達成度を上げることができる。					
3. リーダーシップやメンバーシップを図り、看護を実践することができる。					
4. 技術の原理原則を踏まえ、対象に応じた看護技術を実践することができる。					
5. 多重課題に対してそのリスクや優先度を踏まえた対処について説明することができる。					
6. 複数受け持ち場面における優先度を踏まえた判断や実践をすることができる。					
7. リフレクションの思考を持ち、自己の課題を明確に述べるることができる。					
回数	授業内容				授業方法
1	科目のねらいと学習内容及び学ぶ姿勢 看護実践能力 看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標 看護師教育の技術教育と卒業時の到達目標 自己評価と課題の明確化				講義 GW
2	看護実践マネジメント チーム医療におけるリーダーシップとメンバーシップ				講義 GW
3	多重課題への対処				講義 GW 演習
4	多重課題事例の演習				
5	【Keyword】状況把握・コミュニケーション・優先度の判断・KYT・PDCA サイクル 相互支援・チーム連携・技術の原理原則を踏まえた実践				
6	予定変更や突発事象への対応・タイムマネジメント 報告連絡相談・ISBARC				
7	複数患者受け持ち事例演習				演習 GW
8	複数の対象の状況に応じた看護について根拠を持って考える一計画立案				
9	実践に向けての準備—技術演習など				
10	複数患者事例への看護の実際				演習
11	複数の対象の状況に応じた看護実践と評価 リフレクションと課題の明確化				
12	原理原則を踏まえた基礎技術の再確認				
13	技術の到達度確認				演習
14	技術の根拠確認及び実践				
15	リフレクションと課題の明確化				
	終了試験				
【準備学習】既習の看護管理、医療安全、国際・災害看護を復習する。 事前に授業計画を確認し、教科書で予習する。 臨地実習の技術経験を確認し、自己の経験内容・未経験内容を把握しておく。他、授業時に提示する。					
【教科書】					

小澤かおり編 看護の統合と実践①看護実践マネジメント/医療安全 メヂカルフレンド 2023

【参考書】

1. 原玲子著 看護マネジメント入門 日本看護協会出版会 2011
2. 川島みどり他編 今日の看護指針 臨床実践能力の向上を目指して 看護の科学社 2016
3. 看護技術に関する教科書及び看護の統合と実践の教科書全て

【成績評価】課題レポートや演習への取り組み及び終了試験の結果で評価する。

藤木先生 100%

(課題レポートや演習への取り組み 30% 終了試験 70%)

出席状況や受講態度、演習に対する取り組みも評価の対象とする。

【備考】演習の詳細は別途配布し説明する。

学生便覧Ⅴ.学生生活『授業を受ける心構え』参照

分野	統合分野 看護の統合と実践	科目	看護管理		
必修・選択	必修	単位（時間）	1 単位（15 時間）	開講時期	3 年前期
講師名	原田 喜代子	所属および実務経験	元九州中央病院看護部長／ 看護師・認定看護管理者		
【授業概要】 看護管理、看護マネジメントの概念を学び、チーム医療・看護ケアにおける看護師としての責務とリーダーシップの重要性について学ぶ。また、マネジメントの意義や重要性を理解することで、ひとり一人が専門職業人としての自覚と責任感を高める機会とする。					
【到達目標】 1. 組織の構造とその原則について整理し、組織マネジメントとの関連で説明することができる。 2. 看護職が提供する看護ケアのマネジメントについて必要性及び実際を具体的に説明することができる。 3. チーム医療や多職種との連携についてマネジメントの視点から考察することができる。 4. 看護サービスマネジメントの必要性及びマネジメントの実際について具体的に説明することができる。 5. 自己のキャリア形成と今後の課題について考察することができる。 6. 看護職に関連する法制度を踏まえ、看護業務と職業倫理について列記することができる。					
回数	授業内容				授業方法
1	看護管理とマネジメント 基本的要素、マネジメント活動、マネジメントプロセスとマネジメントサイクル 看護マネジメントが行われる場 組織とマネジメント及び原則				講義
2	看護ケアマネジメント 看護職の機能、看護基準と看護手順、患者の権利、安全管理、看護ケアシステム				講義
3	多職種との連携、情報共有・情報管理				
4	看護サービスのマネジメント 理念の浸透、看護の組織化、看護単位の管理、労務管理、情報マネジメント				講義
5	看護教育・キャリア開発 看護職員教育と看護教育の展望 看護師養成制度と就業状況				講義 GW
6	看護を取り巻く制度・行政 看護の需要と供給及び質の問題 看護の経営への参画と診療報酬制度と看護				講義
7	より良い看護実践を目指す看護管理の必要性 医療の質、安全文化の向上のための活動、トップダウンとボトムアップ				講義
8	終了試験				
【準備学習】事前に授業計画を確認し、教科書で予習する。 他、授業時に提示する。					
【教科書】 上泉和子著他 系統別看護学講座 統合分野 看護の統合と実践[1] 看護管理 医学書院 2023					
【参考書】 太田加世編 看護管理ファーストブック 学研メディカル秀潤社 2015 太田加世編 看護管理セカンドブック 学研メディカル秀潤社 2017					
【成績評価】終了試験の結果で評価する。出席状況や受講態度も考慮の対象とする。 原田先生 100%					
【備考】 学生便覧 V. 学生生活『授業を受ける心構え』参照					

科目 No.76

分野	専門分野	科目	看護の統合と実践：災害看護・国際看護		
必修・選択	必修	単位数 時間数（回数）	1 単位 30 時間（15 回）	配当時期	3 年前期
講師名	牧野裕也	所属および実務経験	済生会福岡総合病院／看護師（日本 DMAT 隊員）		
	岡部美代子		済生会福岡総合病院 看護係長／ 日本看護協会災害支援ナース		
	花田陽子		丘の上の街 管理者		
【授業概要】					
<p>看護の統合と実践の科目は、これまで学び積み上げてきた基礎的知識・技術とところを統合し、より良い看護への追求を深める科目です。</p> <p>この科目では、災害直後から支援できる看護の基礎的知識と災害時に必要な看護技術を学びます。災害発生の社会のしくみや支援を実際の看護活動とつなげて学習し、災害サイクルや対象に応じた看護を創造する基盤を学びます。また、国際的視点に立った看護の役割や活動の実際を通して、異文化理解や諸外国の健康課題、在留外国人への看護などについて学びます。</p>					
【目的】災害サイクルに応じた看護の基盤と国際的視点を持ち看護を思考していく姿勢を養う。					
【到達目標】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害サイクルに応じた看護について例を挙げて説明することができる。 2. 災害に伴い発生しやすい健康問題について、その原因や看護を列記することができる。 3. 災害時の看護の注意点を説明し、紙上事例に応じた応急手当を、原理原則を踏まえて実践することができる。 4. 看護の視点から国際的健康課題を理解し、看護師に求められる役割について考察することができる。 					
【授業の流れ】（全体スケジュール・学習内容・方法等）					
回	学習内容		方法	備考	
1	災害看護とは（災害とは、災害の種類、災害の特性と人類への影響） 災害サイクルと看護		講義 演習 ポストテスト	牧野裕也	
2	災害サイクル（発災期・急性期・亜急性期・慢性期・復興期・静穏期・前兆期）の特徴と 主な災害医療及び看護活動、慢性疾患患者に対する災害看護				
3	DMAT で活動した看護職からのメッセージ				
4	主な災害医療及び看護活動 【Keyword】CSCATTT、災害時救助活動チーム、トリアージ、災害関連死		講義 演習 ポストテスト	岡部美代子	
5	災害と健康障害及び看護、クラッシュシンドローム、エコノミークラス症候群予防、 感染防止、要配慮者、避難行動要支援者への看護、避難所における生活支援 専門職連携協働：避難所で活動された保健師からのメッセージ				
6	災害と情報、災害対応にかかわる職種間の連携、災害看護と法律		講義 演習 ポストテスト	岡部美代子	
7	災害とこころのケア 歴史的災害の概観、災害に関連する用語の定義、被災者の心理とケア、遺族の心のケア、 基礎的理論：危機理論、悲嘆、レジリエンス、ストレングスモデル、セルフケア理論		講義 演習 ポストテスト		
8	援助者の心理とケア 事例演習				
9	災害看護のまとめ 災害サイクルに応じた看護の実際：応急処置技術		講義 演習	岡部美代子	
10	事例別に学習した看護について発表し共有する（実技を含む） 技術：担架移送、止血法、固定法				

11	国際看護の意義と背景、開発途上国の概要、人間の安全保障	講義	花田陽子
12	国際協力の仕組み、国際救護活動、グローバルヘルス、プライマリヘルスケア ヘルスプロモーション ミレニアム開発目標（MDGs）と持続可能な開発目標（SDGs）	講義	
13	基礎的理論：レイニガーの文化的ケア理論 子どもの健康、女性の健康、感染症と保健活動、異文化看護、オーナーシップ 文化と価値観の尊重と健康について	講義	
14	訪日外国人・在日外国人など多国籍の人々への看護実践 日本で働く外国人看護師（候補生） 在日外国人への医療サービスについて考える	講義	
15	在外日本人の健康、渡航に関する留意点、海外での看護活動の実勢	講義	
	試験		

【準備学習内容】

テキストによる事前学習をしっかりと行いましょう。テキスト学習を踏まえて授業は進んでいきます。

重要な箇所にはマーカーする、ディスカッション時に活用できるようポイントをメモしておくなど工夫し自己学習しましょう。

一人ひとりが調べ学習をしっかりと行い、演習が効果的な時間となるよう努めましょう。

1 回目の授業までに「日本で発生した災害」について 1 つ取り上げ、その概要をレポートにまとめておきましょう。授業時に持参してください。

9 回目～10 回目の演習前に、包帯法や固定法、担架による移送について自己学習しておきましょう。テキスト巻末にある QR コードを読み取り動画を視聴しイメージ化を図っておきましょう。

【使用するテキスト】

竹下喜久子編 系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践〔3〕 災害看護学・国際看護学 医学書院 2023

安藤雄一他監 公衆衛生がみえる メディックメディア 2021-2022

【参考文献】

小原真理子著 いのちとこころを救う災害看護 学習研究社 2008

石井美恵子他監 多職種連携で支える災害医療 医学書院 2017

岩澤和子他編 国際化と看護 メディカ出版 2018

外務省ホームページ ODA（政府開発援助）と地球規模の課題 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/tikyuu_kibo.html>

【評価方法】

授業終了時のポストテスト、課題レポートを含む演習への取り組み・成果、筆記試験

災害看護（牧野先生）ポストテスト 10 点、課題レポートを含む取り組み・成果 9 点、筆記試験 15 点）

災害看護（岡部先生）ポストテスト 9 点、課題レポートを含む取り組み・成果 10 点、筆記試験 15 点）

国際看護（筆記試験 32 点）

課題レポートは、指定された日時までに提出してください。指定日時までに提出されたものを評価の対象とします。

チェックリストや技術の動画は、指定された日時までに提出してください。

到達レベル 演習 I：止血法の実際

到達度の確認は、以下のいずれかで行う。詳細は別紙参照。

演習中の技術確認、チェックリストを活用しグループ学習の自己評価と他者評価の提出など

【受講上の注意】

事前学習や復習など自分で学習スケジュールを立て、計画的に行っていきましょう。

看護の統合と実践の科目です。これまでの学びを活かして、主体的に能動的に自ら学びをデザインする意識を高めて取り組みましょう。

チェックリストを用いて自己評価を行ないながら技術練習していきましょう。指定された技術の動画を提出してもらい技術の到達度を確認します。